

水稲用 殺虫・殺菌剤

農林水産省登録 第22036号

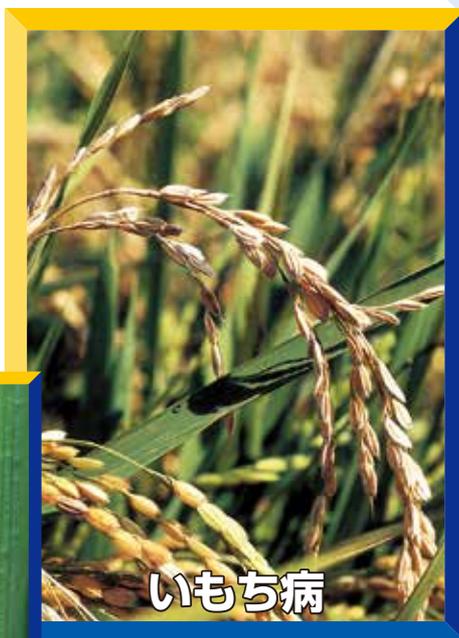
ビームTM エイトスタークルソール[®]



ホソハリカメムシ



ツマグロヨコバイ



いもち病



セジロウンカ

無人ヘリ散布、
地上液剤少量散布
でも使えます。



オオトゲシラホシカメムシ



アカヒゲホソミドリカスミカメ

いもち病と 主要害虫を まとめて防除!

収穫
7日前まで
使えます。



水稲用 殺虫・殺菌剤

有効成分:ジノテフラン……10.0%
トリシクラゾール……8.0%

殺虫剤分類	4A
殺菌剤分類	16.1

人畜毒性:普通物
(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

ビーム™ エイトスタークルゾール®

■特長

1

いもち病と主要害虫を同時防除

いもち病に防除効果の高いビームと、カメムシ類、ウンカ類・ツマグロヨコバイに高い防除効果を有するスタークルの混合剤です。

2

いもち病発病後の散布でも、まん延を防止

ビームは、いもち病菌の侵入阻止効果と二次感染阻止効果(孢子形成阻害、孢子飛散阻害及び病原力低下作用)により発病前から発病後の散布でいもち病のまん延を防止します。

3

カメムシ類には殺虫効果+吸汁阻害効果で、斑点米被害を阻止

スタークルは、カメムシ類、ウンカ類・ツマグロヨコバイに高い防除効果を有し、特にカメムシ類には殺虫効果と吸汁阻害効果で斑点米被害を効果的に防除します。

4

速やかに浸透移行し、長い残効性と優れた耐雨性を発揮

2つの有効成分とも速やかに稲体内へ浸透移行し、長い残効性と耐雨性を示します。

適用病害虫及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	1000	60~150	収穫 7日前 まで	3回 以内	散布	4回以内 育苗箱への処理 および側条施用は 合計1回以内、 本田での散布、 空中散布、 無人ヘリコプター による散布は 合計3回以内	4回以内 育苗箱への 処理は1回以内、 本田では 3回以内
		250~300	25					
		8	0.8			無人ヘリ コプター による散布		

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤は長時間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌してください。
- 水源地、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 散布薬液の飛散によって動植物特に野菜類の幼苗、なし(二十世紀、幸水、新水等)等の農作物の危被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分注意してください。
- 本剤を本田の水稲に対して希釈倍数250~300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。

- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - 散布は散布機種種の散布基準にしたがって実施してください。
 - 微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管とその他散布装置の十分な点検を行ってください。
- 蚕に付着するおそれがある地域では使用しないでください。また、周辺の農薬にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われて

- いるかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 作業終了後は次の項目を守ってください。
 - 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗いし洗浄廃液は適切に処理してください。
 - 散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2021年5月現在の知見に基づいて作成されております。 2440(24-10)